

**製品名: AMPK アルファ 1 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe86460**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から 12 ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:100-1:200,IP 1:50-1:100
分子量	Calculated MW:63 kDa; Observed MW:63 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	AMPK alpha 1
別名	AMPK; AMPKa1
遺伝子 ID	5562
SwissProt ID	Q13131
免疫原	ヒト AMPK アルファ 1 の合成ペプチド

**背景**

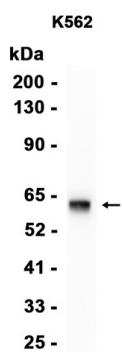
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ser/thr タンパク質キナーゼファミリーに属し、5'-プライム AMP 活性化タンパク質

キナーゼ (AMPK) の触媒サブユニットです。AMPKは、すべての真核細胞に保存されている細胞エネルギーセンサーです。AMPKのキナーゼ活性は、細胞内の AMP/ATP 比を上昇させる刺激によって活性化されます。AMPKはリン酸化を介して、いくつかの主要な代謝酵素の活性を制御します。ATPを消費する生合成経路を遮断することで、ATP枯渇を引き起こすストレスから細胞を保護します。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが観察されています。[RefSeq提供、2008年7月]

## 研究分野

-

## 画像データ



AMPK アルファ 1 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して、K562 細胞抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。